

5月11日・12日開催

World Logging Championships
WLC
 2014 第1回日本大会
JLC
 Japan Logging Championships

in 青森

チェーンソーによる伐木技術を競うWLC(世界伐木チャンピオンシップ)に出場する日本代表選手を選ぶ初の国内大会・JLC(日本伐木チャンピオンシップ)in青森が5月11日、12日の2日間にわたって開催され、8つの県から20人の選手が参加し、5種類の競技で腕を競いました。

この大会で選出された4人の選手は、今年9月にスイスで開催される第31回世界伐木チャンピオンシップに日本代表選手として出場します。

競技紹介



【伐倒】
 3分以内に1本の木を伐倒方向の目標に対して正確に切り倒す競技です。



【接地丸太輪切り】
 接地させた丸太の下にある板を傷つけないようにしながら、円板を切り出す競技です。



【丸太合せ輪切り】
 傾いた丸太の上下それぞれから切り込みを入れ、厚さの均一な円板を切り出す競技です。



【枝払い】
 幹にキズを付けたり、枝を切り残したりしないように、枝を切り落とす競技です。



【ソーチェン着脱】
 チェンソーのバー・チェンの付け替えを行う競技です。

※いずれの競技でも、作業時間や作業の正確さのほかに、作業安全規則の遵守などが評価されてポイントとなります。



WLC
 (世界伐木チャンピオンシップ)
 WLC(World Logging Championships Association International Logging Championships)世界伐木チャンピオンシップ協議会が主催するヨーロッパを中心とした約30か国から100人以上が出場する大会です。伐木の技術や安全作業、社会的地位の向上を目的とした40年以上の歴史を持つ大会で、近年は2年ごとに開催されています。

競技は技術面(効率・正確さ)のみならず、安全面も考慮された採点基準に基づいて行われます。

日本は2010年のクロアチア

大会から出場しており、現在まで2大会連続出場を果たしています。

JLC
 (日本伐木チャンピオンシップ)
 JLC(日本伐木チャンピオンシップ)は今年9月10日から13日まで、スイスのブリエンツで開催される第31回WLCに出場する日本代表選手を選出するための大会です。

今回開催された第1回大会では、全国から広く参加者を募り、8県20人の選手が参加。5つの競技でチェーンソーを使った伐木技術を競い合いました。

競技結果



日本代表に選出された4人。左から、今井さん、前田さん、秋田さん、先崎さん。

24歳以上を対象としたプロフェッショナルクラスの上位3人と、24歳未満(平成26年12月末現在)を対象としたジュニアクラスの上位1人の計4人が日本代表として選出されました。

プロフェッショナルクラス

- 1位 まえだ ともひろ 前田 智広さん(青森県)
 2位 いまい ひのき 今井 陽樹さん(群馬県)
 3位 あきた みつぎ 秋田 貢さん(青森県)

ジュニアクラス

- 1位 せんざき ともまさ 先崎 倫正さん(青森県)

林野庁も応援しています

WLCの取り組みは、林業の現場から選び抜かれた方々が、日頃培われた伐木の技術を競うもので、高度な技術に裏打ちされた洗練された姿が、服装・装備・実技の全てに滲み出ます。

安全作業等の技術の向上・普及や林業の魅力のPRにも大いに貢献するものと期待し、WLC2014第1回日本大会の開催に当たり、林野庁としても後援させていただき、競技の結果最も優秀な成績を挙げた前田さんに林野庁長官賞を贈りました。

このような機会は、多くの人々に、「森林の整備や木材の生産は、林業技能者の優れた技術によって支えられていること」、「林業の営みが、地域の環境と経済の両面で良い循環を生んでいること」など、森林・林業が持つ真の価値を実感してもらえる場にもなるでしょう。

そして何よりも、本大会によって林業の現場の誰もが、世界一の林業マンを目指すという目標とやりがいがありました。

これまで、林業技能者の技術と安全の向上のため、地域単位の競技会が一部開催されてきましたが、今大会の開催を契機に、このような取組が各地に広がり、これまで以上に技術と安全の向上が図られることを期待しています。

Interview



プロフェッショナルクラス1位
前田 智広さん

前々回、前回のWLCに参加した経験からみると、日本の競技レベルは決して高いとは言えません。今回の私の総合得点でも、世界大会では70位前後ではないかと思えます。

得点が伸びない大きな原因は、この競技が重視している作業安全規則への違反による減点にあります。競技だけでなく、普段の仕事から安全への意識を高めていくことによって、初めて世

界のスタートラインに立つことができるのだと思います。

9月のWLCでは、こうした課題をクリアし、自分の実力をもっと発揮できるようにするとともに、今後のためにも世界における自分のレベルを再認識できればと思います。

5種類の競技の中でも、枝払い競技が最も見えて面白いのではないかと思えます。機会があったら、ぜひ競技を見てください。



ジュニアクラス1位(総合5位)
先崎 倫正さん

2月から週に1回練習をして、WLC日本大会in青森に臨みました。

林業経験2年目で初めての大会参加、もちろん人前でチェーンソーを使うのも初めてだったので緊張しました。どうなることかと思いましたが、競技順を決めるクジの結果、大会初日の午前に私の競技参加がなく、他の選手の競技姿をずっと見ていることで落ち着きを取り戻すことができました。

世界大会も初めての参加ですが、失敗を恐れずに精一杯頑張ります。

伐木チャンピオンシップは高い技術を競う競技内容はもちろん、選手のウェアなどもかっこいいので、若い方も機会があったらぜひ観戦し、林業に興味をもってほしいと思います。